



陶特別号

かほく市立七塚小学校
校長 宗廣 進一

令和3年度後期学校評価結果のお知らせ

今回の特別号では、2学期末に実施した児童・保護者・教職員のアンケート結果をもとに、本校が特に力を入れてきた4つの項目に注目して、2学期の成果と課題、3学期に向けての取組をお伝えします。

アンケート回答等のご協力、ありがとうございました。 (数字は%)

対象者	評価項目	よくあてはまる だいたいあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				
		よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
指導力向上・学力向上	児童	授業では、課題を解決するために考えることは楽しい	前期 63	33	3	1
	教職員	「考える楽しさ」を児童が実感できるようにしている	前期 28	72		
	児童	国語・算数の学期末テストの平均点	全国の平均点と比較して（全校児童平均） （前期）国語（+1点） 算数（+3点） （後期）国語（+2点） 算数（+2点）			
	教職員	あっぷUPタイムでは、児童の基礎学力の向上に結びつくような指導をしている	前期 33	67		
<p><□2学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて></p> <p>□児童は、1学期同様に「課題を解決するために考えることは楽しい」という意識は高い。また、「あてはまらない」と回答をした児童も0%になり、「考え続けたいくなる授業づくり」や「基礎学力の向上に結びつくような指導」等が成果として表れてきています。</p> <p>◎今後も、「考える楽しさ」を実感できる授業を一層充実させていくとともに、一人一人に寄り添った指導を行い、児童の学力が着実に向上するように取り組んでいきます。</p>						

対象者	評価項目	よくあてはまる だいたいあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない				
		よくあてはまる	だいたいあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
自己肯定感の醸成	児童	学校に行くのは楽しい	前期 63	28	8	1
	保護者	子どもは学校へ行くのが楽しいと言っている	前期 49	43	6	2
	児童	自分には良いところがあると思う	前期 53	33	11	3
	児童	将来の夢や目標を持っている	前期 74	14	6	6
<p><□2学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて></p> <p>□児童、保護者の多くが、1学期同様に「学校に行くのは楽しい」と肯定的にとらえています。また、「自分には良いところがあると思う」や「将来の夢や目標を持っている」についても1学期同様に児童は肯定的に答えています。教職員相互で授業や学校生活の中で見られた児童のよさを交流し合い、どの職員からも児童に励ましや称賛の声をかけてきたことが成果として表れてきています。一方で、否定的な回答をした10%前後の児童には、理解を深める努力を続けながら保護者の方とも連携し個別に対応していく必要を感じています。</p> <p>◎3学期も引き続き、授業や日常生活の中で見られた児童のよさに対し、励ましや称賛の声かけを全職員で意識して行っていきます。また、児童の成長を教師や児童同士が伝え合う場面を設定し、一人ひとりの良さを見つけ、本人に伝え、自信を持たせるとともに、生かす場を設ける等さらに伸ばすことができるよう指導に努めていきます。</p>						

いじめ対応	児童	いじめはどんな理由があってもいけないと思う	前期	96	3	1
			後期	98	2	
	保護者	学校は、いじめの未然防止や早期発見のための取組を伝えている	前期	17	77	6
			後期	21	70	8
	教職員	いじめに関する取組や指導を行っている	前期	39	50	11
			後期	67	33	

<□2学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて>

□いじめは許されないものであるという児童の意識は100%と浸透してきました。また、保護者も「学校のいじめの未然防止や早期発見の取組」について概ね肯定的に答えています。児童会からの温かい言葉遣いの意識が高まる取組やいじめアンケートやハートチェックアンケートの機会に合わせて、学級担任が個別に面談し、指導を繰り返し行ってきた成果と言えます。職員間で、いじめの事案についても情報共有を行ったことでも、小さなことを見逃さずに組織で対応することができました。また、いじめの実態把握のためのアンケートを家庭で一緒に回答していただいたり、生徒指導だよりを通して、いじめの未然防止・早期発見につながる取組を伝えたりしたことも成果につながったと考えられます。ただし、友達への冷やかしかからかい、悪口などが、今でも見られるのが現状で、その都度、指導を重ねています。

◎3学期も同様に、職員による情報交換で、些細なことでも情報共有を行うことで、いじめの未然防止・早期発見、組織的に対応して参りたいと思います。また、各学級で人間関係づくりを行うなど温かい関わりについての指導を繰り返し行い、相手を思いやる気持ちや態度の醸成を図っていきます。

健康安全な生活習慣の定着	児童	毎日朝ご飯を食べている	前期	90	5	3	2
			後期	91	5	3	1
	保護者	子どもは朝食を毎日食べている。	前期	85	12	2	
			後期	87	11	1	
	保護者	子どもに、バランスの良い朝食を毎日準備している	前期	16	63	20	1
		後期	17	58	23	2	
	児童	毎日、食後に歯みがきをしている	前期	65	30	4	
			後期	66	30	3	1
	児童	1日のメール・ネット（ライン・ゲームなど）の平均時間	前期	49	24	15	12
			後期	46	28	13	13

0～1時間未満 1時間以上2時間未満 2時間以上3時間未満 3時間以上

<□2学期の取組の成果と課題 ◎今後に向けて>

□1学期同様に朝食や歯みがきについては、大多数（96%）の児童が習慣化されています。保護者の高い意識に加え、健康チェック表でチェックしたり、保健だよりで朝食の栄養バランスの重要性について啓発したりしたこと等も成果につながっていると考えています。歯みがきについてはこれまで2年間継続して指導してきたことの成果だと思います。ただ、一部の児童については朝食や歯みがきがまだ定着していませんので、保護者と連携しながら個別に対応していく必要があります。

□平日2時間以上メディアに触れている児童が若干減ったものの26%と高い値となっており、学校や家庭での学習に悪い影響を与えています。朝学習でネットトラブルを啓発するビデオ視聴したり、外遊びの楽しさを味わわせようと、昼休みに児童会企画の「外遊び」集会を行ったりして、メディアに関わる時間を減らす取組を行ってきましたが、まだ十分ではありません。今後も学校と家庭とが連携しながら、対策を講じていきます。

◎1月のすくすく集会では、授業参観の中止により実施できませんでしたが、家庭に持ち帰ったタブレットで親子一緒にアピール動画を視聴してもらいました。メディアのトラブルや問題、そしてメディアとの付き合い方、メディアルールについて親子で話し合う機会を作りました。また、その内容については研修部だよりを通じてお知らせしました。（1/29～1/31）さらに、校区の幼稚園やこども園、河北台中学校とも連携を図りながら、メディアとの関わり方について考えていきたいと思っています。

～自由記述欄より（一部）～

温かいお言葉をたくさん頂戴し、誠にありがとうございます。いただいたお言葉を励みにしてがんばっていきます。

- ・いつもありがとうございます。よろしくお願いします。（多数）
- ・何事も迅速に対応してくださるのでとても感謝しております。お忙しい中いつもありがとうございます。
- ・保健室にお世話になったり、何かあった時は連絡帳でお知らせくださり、助かっています。
- ・学校では、頑張っているように思います。お誕生日をお祝いして頂いたり、ひとりひとり大切にご指導して頂き、感謝しております。今後もどうぞ宜しくお願い致します。
- ・夏休みのサマースクールをきっかけに、算数の計算をしっかりと理解でき、伸びたように感じました。見逃されてしまうような所を感じ取ってくれた担任の先生にとっても感謝しています。日頃から1人1人よく見てくれていることが伝わりました。教室の掲示物の雰囲気も、楽しさや、やる気が湧いてくるような作りでとても好感が持てます。
- ・何かあれば、お忙しい中でもわざわざ連絡を下さり感謝しています。迅速かつ丁寧な対応を下さっているので、息子が楽しく学校に通えています。親も子ども、とても信頼しています。授業が楽しい！と言っています。毎日、楽しかった事、色んな事たくさん伝えてくれています。
- ・丁寧にご指導して頂き、また、相談に対応して頂き、感謝しております。今後もどうぞ宜しくお願い致します。
- ・子どもが学習のつまずきで、学校に足が向かないことがあり、親としてどうしたらいいかわからず、担任の先生に相談させて頂きました。話しや気持ちを聞いて頂き、また、学校でもすぐに配慮して頂いて、本当に感謝しております。ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。
- ・コロナ禍で行事が限られる中、合宿を実施していただいた事に感謝します。とても楽しく、小学校の思い出となりました。
- ・クラスのお便りは定期的に出してくれて、写真などもあったり子供達の様子も書いてくれてあり、毎回楽しみに拝見させてもらってます。学校での運動会など大きな行事以外で、遠足やクラスの写真などを購入できる機会があったらなと思います。学校の写真が自分の子供の時みたいでないのが少し寂しいです。

<課題>

☆いじめについて

- ・いじめに関してです。学校の「伝える」とはどういった事なのでしょう。何かマニュアルなどあるのでしょうか。未然防止、早期発見とはどういった事でしょうか。教育委員会との連携がどういった風に行われるのか知りたいと思いました。
- 毎月発行の「生徒指導だより」を配付したり、HPに載せたりして、いじめに関する取組をお伝えしています。未然防止とは、例えばいじめを許さない雰囲気づくりや機会を捉えた指導、わかる授業づくりの推進、自己有用感や自己肯定感のかん養等、いじめを生まない環境作りや人格形成、人間関係作りを図り、安全・安心に学校生活を送ることができるようにすることです。早期発見とは、例えばアンケート調査や個人面談、家庭や地域の連携等を通じて、児童のささいな変化にも目を向け、すばやく状況を把握し早いうちに対処していくことです。いじめが疑われる事案が発生したらまず校内でいじめ問題対策チームを設置し、情報を共有します。いじめと認知した際にはかほく市教育委員会へ報告し、連携を図りながら解決していくこととなります。詳細については本校のHPから「R3いじめ防止基本方針」「生徒指導だより12月号」をご覧ください。

☆行事について

・運動会で思ったのですが兄弟で組を合わせないのはどういう意図があるのでしょうか？

→運動会は1組系列が赤組、2組系列が白組の二組に分かれて行っています。兄弟によって分かれている場合もございますし同じな場合もございますので、ご了承下さい。

・【コロナ禍の為】や【感染防止上の為】等の安易な言葉を付けて子供達の一生に一度の行事を簡単に中止にしたり、簡素化させているように思えます。行事スケジュールの確定時期を考慮しても、ギリギリまで協議を重ねているようにも感じませんでした。右にならえの風習で慎重にならなければいけないのは重々承知ですが、同じ【かほく市】の小学校でここまで対応が違うのはどうなんだろうと思います。

→行事については、コロナ禍であっても、その中でできる活動を工夫したり、感染対策を練ったり、また期限いっぱいまで動向をみながら判断したりする等、その都度実施を前提に進めて参りました。しかしながら、やむを得ず中止または縮小させていただいた次第です。また、人数や施設の広さ、感染状況等を踏まえながら、各学校が自校の規模に応じて対応しているため、学校間で差が生じたのかもしれませんが。今後は丁寧な説明に努める等いただいたご指摘を真摯に受け止め、生かしていきます。

貴重なご意見、ありがとうございました。今後の学校運営の参考にさせていただきます。